

# 成長する有機体である

南中図書館だより  
1月号



みなさん、新年おめでとうございます。

年明け早々、隣県の能登で大きな災害があり、大変な一年の幕開けとなりました。

今年は「辰年」。 昇り龍(= 登り龍)の年です。

日本中の人々が力をあわせ、困難を乗り越え、翔け上(のぼ)っていけるよう祈ります。

さて、昨年末、司書の「推し本」のひとつ、『本好きの下剋上』が完結しました。

本をこよなく愛する主人公が、幼女として異世界転生し、紆余曲折(うよきよくせつ = 複雑に込み入った過程)を経て領主となり、念願の図書館都市を作り上げる・・・ とても「ざっとした」あらすじ説明で恐縮ですが。

ここで、物語中で主人公も説明している、「図書館学の五法則」を、みなさんに紹介しますね。

「図書館学の父」といわれるインド出身の、S.R.ランガナタン博士が、1931年に発表したものです。

第一法則： 図書は利用するためのものである。

第二法則： いずれの読者にもすべて、その人の図書を。

第三法則： いずれの図書にもすべて、その読者を。

第四法則： 図書館利用者の時間を節約せよ。

第五法則： 図書館は成長する有機体である。

『図書館の歩む道：

ランガナタン博士の

五法則に学ぶ』

竹内慈解説 日本図書館協会

## 「図書館は成長する有機体である」

本が今よりも貴重品だった昔は、本は鎖でつながれていて、紛失しないよう厳重に管理されていました。

その当時の図書館は、「本を隠す場所」で、限られた人しか利用できませんでした。

では、現在の図書館はどうでしょうか？ みなさんのまわりの図書館を思い浮かべてみてください。

あらゆる人が利用することができ、自分の読みたい本を自由に選べますよね。

大学図書館には、ラーニングコモンズといわれる、自由で開放的なスペースがあったりします。

電子図書館にいたっては、そもそも場所すら必要としていません。

過去から未来へ・・・ 図書館は、さまざまに変化し、成長していきます。

生徒のみなさん、先生方、保護者の方々・・・

多くのみなさんのご協力があってこそ、南中図書館もまた「成長」することができます。

今年も、「南中図書館」を、みんなのパワーで育てていきましょう！

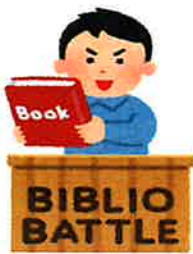


みなさんの目標や、願いごとが

かないますように！



今年も、生徒玄関側入り口のホワイトボードに「絵馬コーナー」を設置しました。ルールを守って、書いてくださいね。



# 図書館だより de Bibliobattle ビブリオバトル!

この本を、  
「**押し**」ます!

みなさん、昨年も、「図書館だより de ビブリオバトル」に参加してくれて、ありがとうございました!  
今年も、図書委員がいろいろな「押し本」を紹介しますので、よろしくお願いします!

さて、みなさんの投票の結果、2023年最後のチャンプ本には、

『劇場版 名探偵コナン 緋色の弾丸』が選ばれました!

「名探偵コナン」は、1994年から、週刊少年サンデーで連載が始まりました。  
今年が2024年ですから、なんと30年も前になりますね。  
色褪(あ)せない人気。 これからも、コナン君たちの活躍が楽しみです。



今月の押し本は、  
こちらの5冊です。  
みなさんの投票を、  
お待ちしております!

この本は、とても疲れて泣きたい人々が、  
お店に迷いこんできて、熊と鮭が作るデザート  
食べて元気になる・・・という話です。  
泣ける内容ですが、マンガと物語になっていて  
とても読みやすいです。

(1年生)



書名:『泣きたい夜の甘味処』  
作者名:中山 有香里

この本は、様々な動物の、残念なところが、  
色々載っています。それだけではなく、  
動物の習性なども知ることができて、とても良い  
本だと思い、みなさんにおすすめします。  
シリーズになっていますが、どの本から読んでも  
楽しめます。

(3年生)



書名:『ざんねんないきもの事典』  
作者名:今泉 忠明(監修)

この本は、不登校の主人公が、ある一人  
の同級生の男の子に、心を開いていく  
というストーリーです。  
とても感動するお話なので、何度も何度も  
読みたくなります。

(1年生)



書名:『明日の世界が君に  
優しくありますように』  
作者名:汐見 夏衛

この本は、明智探偵と、変装の名人である  
怪盗の二十面相が繰り広げる、天才×天才の  
頭脳戦が、超激アツに描かれています。  
思わぬ展開に、「えっ?」と言ってしまうこと  
間違いなしの大作です!

(1年生)



書名:『怪人二十面相』  
作者名:江戸川 乱歩

この本は、自然で起こる色々な現象を、  
図も使って解説してくれます。  
世界中の自然の風景の理由も載っています。  
解説がとても分かりやすく、使われている写真も  
きれいで迫力があります。  
シリーズの他の本もおすすめてです。

(1年生)



書名:『世界でいちばん素敵な  
地球の教室』  
作者名:円城寺 守(監修)